

○11/4 製品製造実習で「うちわ」が完成しました！

9月に製品製造実習で抄紙した巻き取り紙から今年は「うちわ」を製造することになっています。うちわの製造は、香川県丸亀市にある塩屋団扇商工業協同組合様にご協力いただけることになりました！

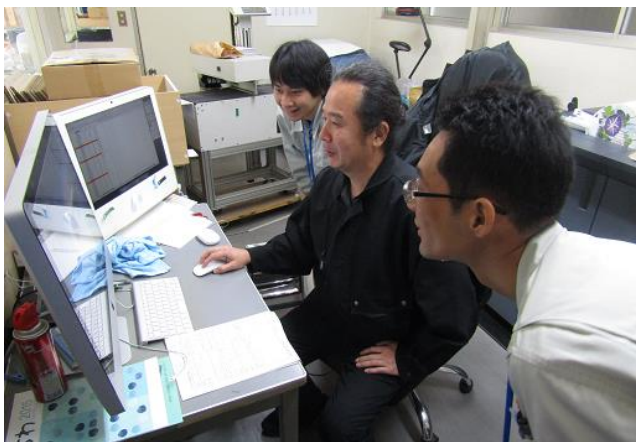


抄紙した巻き取り紙について、密度や厚さ、強度、印刷適性を詳細に分析した結果、「うちわ」の原紙として申し分ない品質であることを確認しました。

うちわのデザインについては、2回生の梶間を中心に色々なアイデアを出し合い、投票にて決定しました。



巻き取った紙を断裁機でうちわ加工用に裁断します。



塩屋団扇商工業協同組合様にて。

デザインの配置や色調について最終調整を行います。



今回は、装置を使用した自動製造と手貼りの2通りを体験させていただきました。

こちらは自動うちわ製造装置



手貼りも体験します。

うちわの骨組みに慎重に貼り付けていきます。

ズレなく貼るのは想像以上に難しかった・・・。



貼り合わせたうちわを乾かします。



立派なうちわが完成しました！

塩屋団扇商工業協同組合の皆さまと
記念撮影！

デザイン調整から加工まで多くのサポートをいただきました塩屋団扇商工業協同組合の皆さま、誠にありがとうございました。

うちわデザインのコンセプトについて、デザイン担当の梶間俊平（2回生）より、



デザイン①

デザイン②

オモテ面には、デザイン①「ミカンと見紛うペーパーミカン」とデザイン②「ミカン越しに望む四国中央市」が配置されています。

デザイン①は、果物のミカン（左）と紙で作ったミカン（右）を並べています。このデザインは、紙から何だって創れるよ！という紙の無限の可能性を表現しています。

デザイン②は、高台に位置する紙産業特別コースから見た四国中央市の風景です。この風景を見る人の視点によって、それぞれ自由に感じ取って欲しいというメッセージが込められています。青いミカンはこれから成熟する学生自身を表現しています。



ウラ面

ウラ面には、当研究室の雰囲気を見る人にお伝えできればと思い、紙産業特別コースの外観と中庭の写真を載せました。愛媛大学のマスコットキャラクター「えみか」も華を添えてくれています。

このうちわのデザインはいくつかの案から投票で選ばれたものですが、偶然にも、紙コースに所属する私たちと「紙」を重ね合わせたコンセプトが完成しました！また、2種類のうちわには共通して「ミカン」がデザインされています。「ミカン」は「未完」の象徴として、無限の可能性を秘めた素材である紙と私たち学生一人一人を表現したものになっています。これは必然だった・・・？

このうちわは、来年の紙まつりやその他イベントで配布する予定です。このうちわを手にしたそれぞれの方々に涼しい風と共に私たちの想いをお届けできますように・・・。